

カラカラカツーン、トボーン
宮城県

むがす、むがす、あつとば」ぬ、おじいさんがいました。

ある日のこと、おじいさんは、山へたきぎをとりに行きました。ひと仕事してから、ため池のそばでいつぶくしていると、池のはたに生えているかしの木から、かしの実が、ひとつ、

「カラカラカツーン、トボーン」と、池に落ちて、水の面に、輪おもてがひとつ、ふたつ、みつと広がりました。

つづいて、また、かしの実がひとつ、

「カラカラカツーン、トボーン」と、池に落ちて、水の面に、輪がひとつ、ふたつ、みつと広がりました。

つづいて、また、かしの実がひとつ、

「カーラカルツーン」トホーン」と池は落ちて水の面は輪かひとつふたつみづと広がりました。

つづいて、また、かしの実がひとつ、

「カラカラカツーン、トボーン」と、池に落ちて、水の面に、輪がひとつ、ふたつ、みつ

ANSWER

村上郁再話

資料『むがすむがすあつどごぬ』佐々木徳夫／未来社